

栞嶺百鳥圖譜續編

地



SHOUT
SHARE **IT**

小原重哉先生序
黑川真賴先生序
幸野梅嶺先生編畫

梅嶺百鳥畫譜續編

東京書林

錦榮堂梓

百鳥畫譜續編序
古人有言曰東坡論畫不
求形似至云摹壁上燈影
得其神情然此特一時戲
言耳若夫造微入妙則以
形模為先如頰上三毛傳
神阿堵皆求其類似之謂
也畫年類狗鵠之類驚豈
可哉抑續畫之事先哲既

具其法寫翎毛則不可不
據二十九訣故數翻而畫
鳥照辦而寫花然後起神
盡變始可出新意於法度
之中矣余自少小酷嗜續
事昂然抗顏放論慢言以
自樂亦惟閑適之一戲耳
近者東京書肆錦榮堂主
人所將刻京師人幸野梅嶺
所作百鳥畫譜續編諸序
於余梅嶺余之相識也誼
不可辭因閱之其畫愈出
愈新應手盡變不啻有法
則其有益於學者不鮮少
乃聊書所見以返之若夫
余言之當與否此畫之適
法度與否則世自有公論
焉明治十有八年孟春之

望書於仰拜
皇城俯觀
不二山處

米華小原重哉



檉嶺而鳥畫譜序

京都な累幸野梅嶺畫師ハ名みこきて
ちぬ人ふてあるといへるやうその四月はる
東京へまづ外けきいあひつゝひて休
むまゝ人となるとたうく所也つゝひてのち
おつたぬこの道ふふくくうもちお
とハナふといふにまひまひのあむく
しきいふふふふふふふふふふの畫師
はふふふふふふふふふふふふふふ
けねぬふはわくのせし畫譜なるなり

卷二 二ひいりふみよーりてつるせよたせしる
 おろふふいそふふーふりまふふー
 うひまふふいふいふふふふふふふふ
 ねふふふふふふふふふふふふふふ

後十一年二月

五川志

標嶺百鳥畫譜續編地之卷目錄

潮鳥 ナガカモノ 荒磯 アライソ 鴉鷂 コヨシキリ 盧 ノシ

鶻 蹠 ニホ 藻 モ 尖尾鳥 サギカモ 雪ニ盧 ユキニ

鴛鴦 アカガシラ 雪ニ盧 ユキニ 岩鷄 イワツミ 女貞 メヅミ

サウ鳥 千辨榴 ヤエザク 島駒 シマゴマ 李花 スモ、ノナ

黑鷗 クマジ 金瓜茄 クマゴナス 秋紗鳥 スガモ 小笹 コサ、

白雉 シロキジ 拳参 エンビグサ 紅尾靈雀 コシヤウ 酸漿 カタバミ

青鷗 アヲシ 瑞香 ジンテウケ 崑陽禽 キンヤウ 菩提樹 ボダイ

三呼鳥 サンコチヨウ 菩提樹 ボダイ 陽鳥 キヌカ 稻穗 イナホ



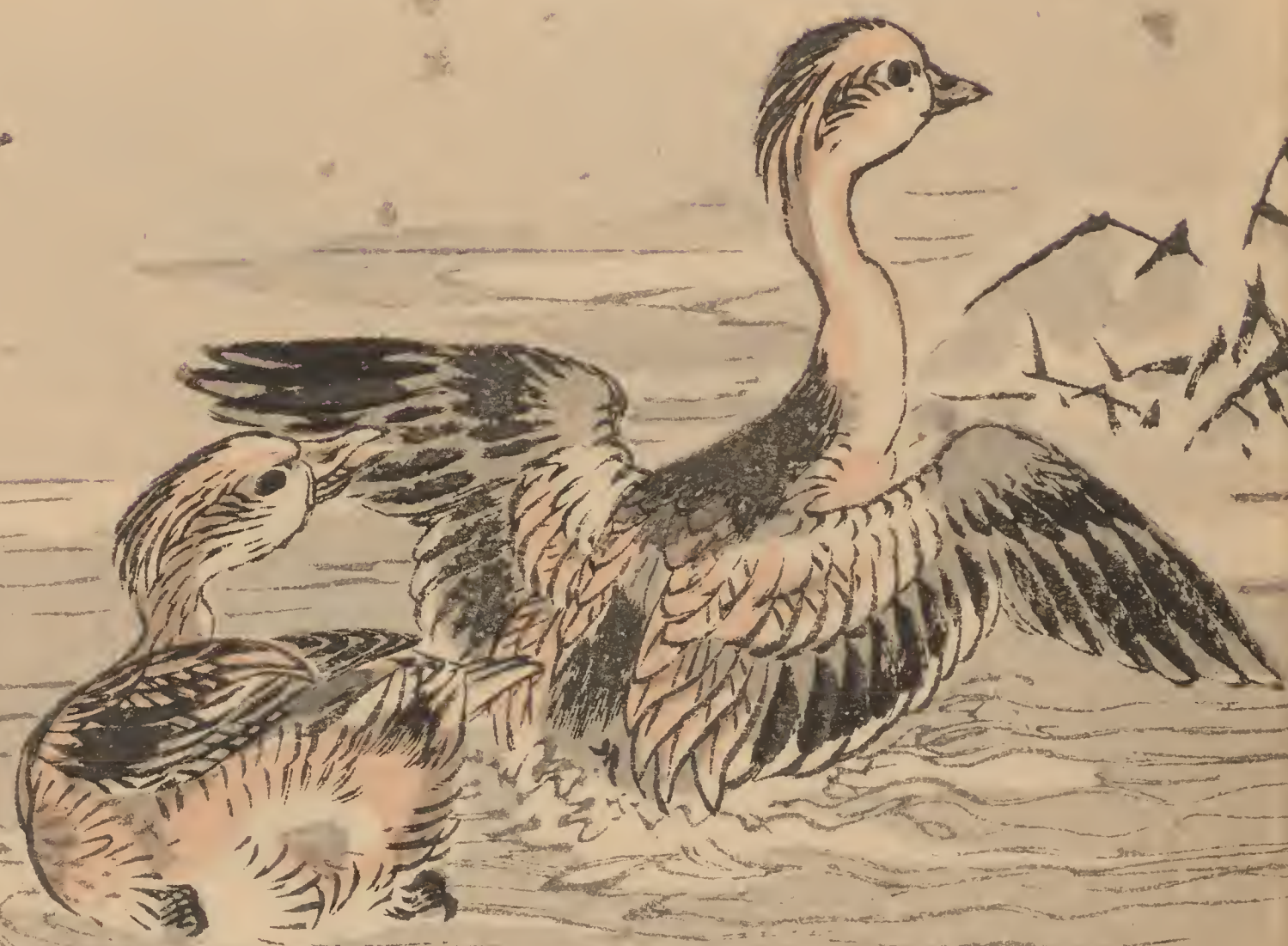
津島モメ

青雞	大鵠	玄鶴	燕鳥	鷓鴣	鷓鴣	夜遊女	侯雁
セイケイ	ヲホムク	クロヅル 丹鳥	コクユル ガラス	シヤマガ ラス	クイ サキ	シロ フコウ	シラ カリ
虞美人草	龍膽	古松	合歡	苦苣苔	嫩盧	野葡萄	月
ヒナ ゲシ	エヤシ ダサ	フルマツ	ネブ	イワタ バコ	アカ シ	ノゲ ウ	ツキ
家雞	唐鵠	江南雉	鷓鴣	鷓鴣	熊野鳥	夜猫	白鶴
シヨウ コク	タウ ムク	フカ ギジ	カワ カモノ	フナシ ウスラ	クワノ カラス	シマフ ロ	ソデ カツル
春草	龍膽	小笹	合歡	白桔梗	苦苣苔	野葡萄	小笹
ハル ンサ	エヤシ ダサ	コザ、	ネブ	シロ キケウ	イワタ バコ	ノゲ ドウ	コザ、

鴉コヨシ
鴉キリ
鴉ニホ



尖尾鳥
鴛鴦
アカガ
シラ



岩鷲
イワツグミ



岩鷲

桐花鳥
サトウ



桐花鳥



黒鴉
ジロ



鷗雉
キシロ



秋沙鳥
ガスモ



青鳩
ジアラ



和蘭



紅毛雲雀
ヲランゴバリ

崑陽會
ウキン



三呼鳥
テサン



陽鳥
ヅキ
キヌカ



候雁
カシラ



白鶴
ロソデ
ルグ



夜猫
夜遊女
クシマ
ウシマ
ウシマ



鵜
鴒
サ
イ



山 鴉
鳥 翼
ガミ
ラス



鷓鴣
フナシ
ウツチ



鷗 燕
カハカ コクマ
ヒメ カラス



玄鶴

クロヅル
丹鳥



江南雉
キジ



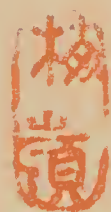
大鶇
唐鶇
ムクウ
ムクホ



青鶏
セイ
イ



家鶏
シヨウ
イグウ



鴈 鳩
マメマ
キドリ
郭公鳥
カツ
ウドリ



梅嶺



明治甲申十月續百鳥
重譯中卷 刺半 冠以伏羽異
三歌以填餘白

謀額書



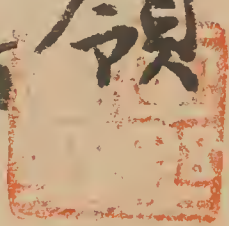
(1884)

明治十七年十月廿日版權免許
同 年十一月 出版

京都府平民

筆者

幸野梅山領



下京第三組玉藏町
百三十番地

東京府平民

出版人

大倉孫兵衛



日本橋區通寺町目
十九番地

